

## 令和7年度 ねりま協働ラボコラボチャレンジ 審査委員コメント

事業名	イザという時、役に立つのは地域の絆「地域力は顔の見える関係」から
実施団体	光が丘パークタウン大通り中央3号棟団地自治会
連携団体	NPO 法人むすび

### 1 協働の工夫・魅力

- ・広い世代に関心を寄せてもらうために、講演会テーマや講師の選定に工夫を凝らしています。
- ・団体間連携により、講演会テーマの幅広さ、参加者増、さらには複数回開催を実現し、参加者の単なる知識習得を超えた「つながり」の意識醸成につなげています。

### 2 成果・地域への波及効果

- ・学びの機会の提供は、取組みやすいが企画力が求められます。地域のつながりを芽生えさせ、育てるために、何をフックにするかは様々ですが、税、健康、平和と多様なジャンルでの学びの機会をフックとすることで、幅広い層を取り込むことにつながったと考えます。

### 3 次への期待

- ・学びでつながった地域の方々と、学びに関心の低い地域の方々を引き込む何かを企画できると、さらにつながりの層が拡大するものと期待しています。また、学びでつながったメンバーでイベントを企画し、参加の輪をさらに広げるなどの取組みができると、他団体への好事例になると思います。
- ・本事業後の継続には、講師への報酬や、周知、会場確保など、資金面の自立の工夫が必要です。参加者からテーマや講師の提案を促すことも、継続につながります。

#### 4 自由記述

- ・子育てをされている方々も、中高年方々も「学びの機会」を求めており、それが地域の中にあることは、素晴らしい環境だと思います。
- ・学ぶだけでなく、参加者間のつながりの意識を参加者同士が高めること、さらに、参加者だけの満足にとどまらず、その輪を広めていく意識が動き出すとことを期待しています。
- ・希薄化が叫ばれて久しい「顔の見える関係づくり」に真正面から取り組む皆さんの熱い思いとエネルギーに敬意を表します。地域の力こそ、暮らしを守る力。この活動が続くことを願っています。